

平成19年度  
決算説明資料

株式会社 常陽銀行

## 【 目 次 】

平成 19 年度決算のポイント	
1 . 総括	単 …… 1
2 . 損益の状況	単 …… 2
3 . 資産・負債の状況	単 …… 4
4 . 資産の健全性	単 …… 7
5 . 自己資本比率	連・単 …… 8
6 . 20 年度業績見通し	単・連 …… 8
平成 19 年度決算の概況	
1 . 損益状況	単・連 …… 9
2 . 業務純益	単 …… 11
3 . 利鞘	単 …… 11
4 . R O E	単 …… 11
5 . 有価証券関係損益	単 …… 12
6 . 特別損益	単 …… 12
7 . 退職給付関連	単・連 …… 13
8 . 有価証券の評価損益	…… 14
(1) 有価証券の評価基準	
(2) 評価損益	単・連
9 . 自己資本比率	連・単 …… 15
貸出金等の状況	
1 . リスク管理債権の状況	単・連 …… 16
2 . 業種別リスク管理債権	単 …… 17
3 . 貸倒引当金等の状況	単・連 …… 17
4 . リスク管理債権に対する引当率	単・連 …… 18
5 . 金融再生法開示債権	単 …… 19
6 . 金融再生法開示債権の保全状況	単 …… 19
7 . 金融再生法に基づく資産査定とリスク管理債権との関係	単 …… 20
8 . 業種別貸出状況等	
(1) 業種別貸出金	単 …… 21
(2) 消費者ローン残高	単 …… 21
(3) 中小企業等貸出	単 …… 21
9 . 国別貸出状況等	…… 22
(1) 特定海外債権残高	単
(2) アジア向け貸出金	単
(3) 中南米主要国向け貸出金	単
(4) ロシア向け貸出金	単
10 . 預金、貸出金の残高	単 …… 22

(注) 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

また、記載比率は、小数点第 2 位未満を切り捨てて表示しております。

## 平成19年度決算のポイント

## 1. 総括

- 業務純益は、有価証券の価格下落に伴う減損処理や売却損の計上により、前年度比244億円減少の284億円となりました。経常利益は、業務純益の減少に加え、貸倒に備えた引当の増加等により前年度比228億円減少の248億円、当期純利益は、前年度比132億円減少の129億円となりました。
- 連結自己資本比率は、13.22%、単体自己資本比率は13.11%となりました。Tier比率は、連結、単体とも12%台と高い健全性を維持しております。
- 20年3月末より自己資本比率は基礎的内部格付手法に基づき算出しております。
- 金融再生法開示債権は、前年度比89億円増加し1,563億円となりました。
- 貸出金末残は、前年度比2,306億円増加の4兆6,694億円、預金末残は、同705億円増加の6兆3,558億円と順調に推移しております。

## (1) 損益の概要

(単位 億円)

	19年度	18年度	増減	増減率	公表比
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	268	529	261		
一般貸倒引当金繰入額	16	-	16		
<b>業務純益</b>	<b>284</b>	<b>529</b>	<b>244</b>	<b>46.24%</b>	<b>45</b>
コア業務純益	523	522	1	0.21%	
臨時損益	36	52	16		
うち不良債権処理額	152	68	83		
〃 株式等関係損益	96	6	90		
<b>経常利益</b>	<b>248</b>	<b>476</b>	<b>228</b>	<b>47.91%</b>	<b>81</b>
特別損益	2	53	56		
うち償却債権取立益	19	31	11		
〃 貸倒引当金戻入益	-	23	23		
〃 役員退職慰労引当金繰入額	6	-	6		
〃 休眠預金払戻損失引当金繰入額	10	-	10		
税引前当期純利益	245	530	284		
<b>当期純利益</b>	<b>129</b>	<b>261</b>	<b>132</b>	<b>50.58%</b>	<b>20</b>

コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

## (2) 自己資本比率

(%)

	20年3月末(速報値)			19年9月末	19年3月末
	19年9月末比	19年3月末比			
連結自己資本比率	13.22	0.90	1.24	12.32	11.98
Tier比率	12.07	1.69	1.87	10.38	10.20
単体自己資本比率	13.11	0.91	1.23	12.20	11.88
Tier比率	12.06	1.68	1.85	10.38	10.21

## (3) 金融再生法開示債権

(単位 億円)

	20年3月末			19年9月末	19年3月末
	19年9月末比	19年3月末比			
合計額	1,563	127	89	1,435	1,474
不良債権比率	3.30%	0.15%	0.03%	3.15%	3.27%

(注) 単位未満切捨て。

## (4) 貸出金・預金(末残)

(単位 億円)

	20年3月末			19年9月末	19年3月末
	19年9月末比	19年3月末比			
貸出金	46,694	1,808	2,306	44,886	44,388
預金	63,558	969	705	62,589	62,852

## 2. 損益の状況

法人向け貸出、住宅ローンが堅調に推移したことにより貸出金利息が増加し、本業の収益を示すコア業務純益は前年度比増加となりました。

一方で、市況の低迷に伴う投資信託販売手数料の伸び悩みや有価証券の価格下落に伴う減損および売却損の計上、貸倒に備えた引当金の増加等により、業務純益、経常利益、当期純利益とも前年度実績を下回りました。

[単体]	(単位 億円)				
	19年度	18年度	増減	増減率	公表比
業務粗利益	986	1,235	249	20.19%	
資金利益	1,076	1,056	19		
役務取引等利益	146	160	13		
その他業務利益	241	14	255		
(うち国債等債券損益)	( 254)	(7)	( 262)		
特定取引利益	4	4	0		
経費	717	706	11	1.62%	
人件費	355	358	2		
物件費	329	313	16		
税金	32	34	2		
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	268	529	261		
一般貸倒引当金繰入額 ...	16	-	16		
<b>業務純益</b>	<b>284</b>	<b>529</b>	<b>244</b>	<b>46.24%</b>	<b>45</b>
コア業務純益	523	522	1	0.21%	
臨時損益	36	52	16		
うち不良債権処理額 ...	152	68	83		
" 株式等関係損益	96	6	90		
<b>経常利益</b>	<b>248</b>	<b>476</b>	<b>228</b>	<b>47.91%</b>	<b>81</b>
特別損益	2	53	56		
うち償却債権取立益 ...	19	31	11		
" 固定資産処分損益	3	1	2		
" 貸倒引当金戻入益 ...	-	23	23		
" 役員退職慰労引当金繰入額	6	-	6		
" 休眠預金払戻損失引当金繰入額	10	-	10		
税引前当期純利益	245	530	284		
法人税等(法人税等調整額含む)	116	268	152		
<b>当期純利益</b>	<b>129</b>	<b>261</b>	<b>132</b>	<b>50.58%</b>	<b>20</b>
実質信用コスト + - -	116	12	103		

コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

(1) 業務純益 284億円(前年度比 244億円)

- ・貸出金利息の増加等により資金利益が増加しましたが、投資信託販売手数料等の役務取引等利益の減少や有価証券の価格下落に伴う減損および売却損の計上により、業務純益は前年度比244億円減少(同 46.2%)の284億円となりました。

(2) 経常利益 248億円(前年度比 228億円)

- ・経常利益は、業務純益の減少に加え、将来の貸倒に備え引当金を積みましたことにより不良債権処理額が増加したこと等から前年度比228億円減少(同 47.9%)の248億円となりました。

## (3) 当期純利益 129億円(前年度比 132億円)

- ・当期純利益は、経常利益の減少に加え、会計基準の変更に伴い休眠預金払戻損失引当金繰入額や役員退職慰労引当金繰入額等を計上したことや、貸倒引当金戻入益の計上がなかったこと等から、前年度比132億円減少(同 50.5%)の129億円となりました。

18年度は、要管理債権の引当率低下を主因として、一般貸倒引当金取崩額が個別貸倒引当金繰入額を上回ったことから、経理基準に従い、一般貸倒引当金取崩額と個別貸倒引当金繰入額を相殺し、その差額23億円を貸倒引当金戻入益として特別利益に計上しております。

## (参考)

## 【相殺後】

(単位 億円)

	19年度		18年度
		前年同期比	
一般貸倒引当金繰入額	16	16	-
不良債権処理額	152	83	68
(うち個別貸倒引当金純繰入額)	34	34	-
償却債権取立益	19	11	31
貸倒引当金戻入益	-	23	23
合計 + - -	116	103	12

## 【相殺前】

(単位 億円)

	19年度		18年度
		前年同期比	
一般貸倒引当金繰入額	16	25	41
不良債権処理額	152	66	85
(うち個別貸倒引当金純繰入額)	34	17	17
償却債権取立益	19	11	31
貸倒引当金戻入益	-	-	-
合計 + - -	116	103	12

## 3. 資産・負債の状況

## (1) 貸出金

法人向け貸出が増加した他、住宅ローンも引続き堅調に推移したことから、貸出金全体では、19年3月末比2,306億円増加の4兆6,694億円となりました。

## 人格別貸出残高の状況

(単位 億円)

	20年3月末	19年3月末	増減	増減率
法人	30,575	29,144	1,430	4.90%
個人	10,397	10,051	346	3.44%
国及び地方公共団体	5,721	5,192	529	10.19%
総貸出金	46,694	44,388	2,306	5.19%

## ローン残高の状況

(単位 億円)

	20年3月末	19年3月末	増減	増減率
住宅ローン	9,117	8,706	411	4.72%
その他のローン	3,627	3,454	173	5.01%
合計	12,745	12,160	584	4.80%

## (2) 預金

個人預金を中心に順調に増加し、預金全体では、19年3月末比705億円増加の6兆3,558億円となりました。

## 人格別預金残高の状況

(単位 億円)

	20年3月末	19年3月末	増減	増減率
法人	10,833	11,052	219	1.98%
個人	48,354	47,038	1,316	2.79%
公金	3,128	3,466	338	9.75%
金融	603	509	94	18.52%
円預金計	62,920	62,066	853	1.37%
総預金	63,558	62,852	705	1.12%

## (3) 預り資産

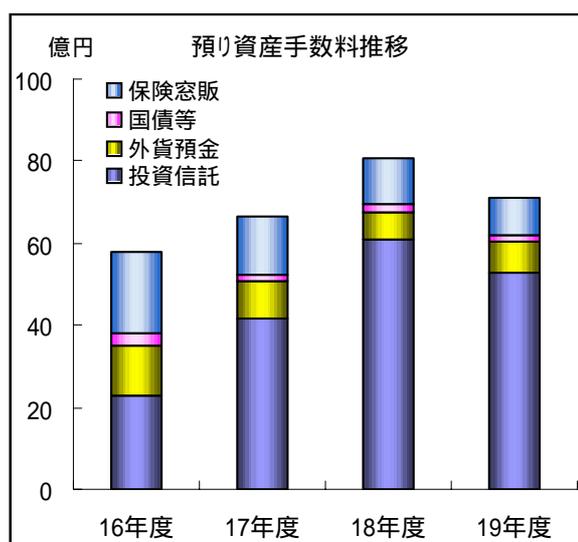
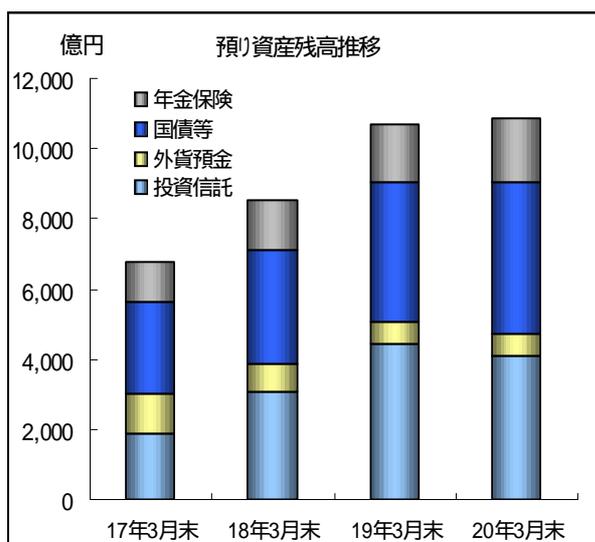
市況低迷に伴い投資信託が減少しましたが、個人向け国債、年金保険が順調に増加し、預り資産全体の残高は19年3月末比192億円増加(年率+1.8%)の1兆866億円となりました。

投資信託、外貨預金、国債等、年金保険の合計  
預り資産関連手数料につきましては、投資信託の販売額が減少したことを主因に前年度比では減少しております。

## 預り資産残高の状況

(単位 億円)

	20年3月末	19年3月末	増減	増減率
投資信託	4,106	4,431	325	7.34%
外貨預金	613	620	7	1.15%
国債等	4,325	3,977	348	8.75%
年金保険(保険料収入 <sup>△</sup> -入)	1,821	1,644	176	10.75%
合計	10,866	10,674	192	1.80%



## (4) 有価証券

証券化商品の価格下落に対し、最大限の対応（売却、減損処理）を実施致しました。  
「その他有価証券」の評価損益は、保有株式の価格下落を主因に19年3月末比  
1,379億円減少しましたが、705億円の評価益となっております。

## 有価証券ポートフォリオの状況

(単位:億円)

	20年3月末		19年3月末比増減	
	円換算簿価(減損後)	評価損益	円換算簿価	評価損益
有価証券	22,361	706	1,625	1,379
国内債券	16,455	14	1,549	97
国債	8,823	51	1,140	29
地方債	3,710	48	510	47
社債	3,921	17	102	20
外国債券	4,073	151	2,483	130
事業債	2,109	22	1,693	2
CMO	842	8	275	12
ABS	279	0	221	1
うちRMBS(住宅ローン)	229	0	164	0
うちCMBS	37	0	14	0
CLO	472	88	46	88
CDO	290	31	46	31
CDS・CDO	71	0	105	1
ABS・CDO	6	0	189	0
投信等	482	24	735	304
株式	1,349	868	44	1,042
信託受益権	481	1	212	0
総計	22,843	705	1,837	1,379
証券化商品(外国債券) = + + + +	1,120	120	515	116

## 証券化商品(外国債券)の内訳と19年度の対応

(単位:億円)

商品種類	格付	20年3月末		19年度の対応	
		円換算簿価	評価損益	売却損益	減損処理額
ABS		279	0	0	0
	AAA	271	0	0	0
	AA	8	0	0	0
CLO		472	88	3	0
	AAA	201	15	0	0
	AA	132	27	2	0
CDO		290	31	1	3
	AAA	104	6	1	3
	AA	185	24	0	0
CDS・CDO		71	0	38	78
	AAA	38	0	14	41
	AA	29	0	7	31
ABS・CDO		6	0	83	83
	AAA	6	0	58	83
	AA	0	0	25	0
(うちサブプライム関連)	AAA	6	0	17	83
	AA	0	0	15	0
合計		1,120	120	128	165

## その他参考事項

- ・ 特別目的事業体(SPEs)その他のサブプライム・Alt-Aに関するリスク・ジャーはありません。
- ・ CDOに関して、米国Eライオン会社(格付AAAの2社)の保証(49億円相当)があります。

その他有価証券の評価損益

(単位 億円)

	20年3月末		19年9月末	19年3月末
	19年9月末比	19年3月末比		
その他有価証券	705	1,027	1,732	2,084
株式	868	975	1,843	1,910
債券	14	89	74	83
その他	177	141	36	257

#### 4. 資産の健全性

不良債権残高(金融再生法ベース)は、再建支援のための取組み等により19年3月末比89億円増加の1,563億円となりました。  
不良債権比率は3.30%と、19年3月末比ほぼ横ばいとなりました。

金融再生法に基づく開示債権の推移

(単位 億円)

	20年3月末		19年9月末	19年3月末
	19年9月末比	19年3月末比		
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	205	33	172	173
破綻先債権	73	27	46	58
実質破綻先債権	131	5	125	114
危険債権	833	24	808	784
要管理債権	524	69	455	516
小計(A)	1,563	127	1,435	1,474
正常債権(B)	45,692	1,656	44,035	43,507
合計(C) = (A) + (B)	47,255	1,784	45,471	44,981
不良債権比率(A) ÷ (C)	3.30%	0.15%	3.15%	3.27%

(注)単位未満切捨て。

危険債権以下の金融再生法開示債権に対する保全率は85.55%、また要管理債権を含む全体の保全率は68.26%と、資産の健全性は引続き高い水準を維持しております。

(保全率：開示債権に対する担保・保証及び貸倒引当金計上の割合)

開示債権に対する保全率

(単位 億円)

【部分直接償却後】	破産更生債権 およびこれら に準ずる債権	危険債権	小計	要管理債権	合計
開示債権残高 (A)	205	833	1,038	524	1,563
担保保証等による保全額 (B)	205	493	698	116	814
非保全額 (C) = (A) - (B)	0	339	339	408	748
貸倒引当金 (D)	0	189	189	62	252
保全額 (E) = (B) + (D)	205	683	888	178	1,067
保全率 (E) / (A)	100.00%	81.99%	85.55%	34.04%	68.26%
(参考:部分直接償却前)					74.51%

(注)単位未満切捨て。

## 5. 自己資本比率

自己資本比率は、連結、単体とも13%を上回り、また、Tier（基本的項目）比率でも12%を上回る水準と、引続き高い健全性を維持しております。

20年3月末より自己資本比率はバーゼル の基礎的内部格付手法に基づき算出しております。

## 自己資本比率(国内基準)の推移 (20年3月末は速報値)

【連結】

(%)

	20年3月末		19年9月末	19年3月末
	19年9月末比	19年3月末比		
自己資本比率	13.22	0.90	12.32	11.98
うちTier	12.07	1.69	10.38	10.20

【単体】

	20年3月末		19年9月末	19年3月末
	19年9月末比	19年3月末比		
自己資本比率	13.11	0.91	12.20	11.88
うちTier	12.06	1.68	10.38	10.21

## 6. 20年度業績見通し

単体については、業務純益530億円、経常利益430億円、当期純利益250億円を予想しております。

営業基盤やお客様との取引基盤の拡大による収益力の強化を目指していくほか、有価証券にかかるコストの減少が見込まれることなどから、業務純益、経常利益、当期純利益とも前年度比増加を見込んでおります。

連結については、経常利益440億円、当期純利益260億円を予想しております。

	【単体】		20年度		【連結】		20年度	
	20年度中間	前年同期比		前年度比	20年度中間	前年同期比		前年度比
業務純益	250	33	530	245				
経常利益	210	42	430	181	215	46	440	177
当期純利益	120	25	250	120	125	26	260	120

コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入 - 国債等債券売買損益

## 平成19年度決算の概況

## 1. 損益の状況【単体】

(単位：百万円)

	平成19年度		平成18年度
		平成18年度比	
業務粗利益	98,626	24,960	123,587
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	124,100	1,258	122,842
国内業務粗利益	132,187	13,055	119,131
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	117,421	2,347	115,073
資金利益	102,169	3,438	98,731
役務取引等利益	14,581	1,389	15,970
特定取引利益	471	1	472
その他業務利益	14,964	11,007	3,957
(うち国債等債券損益(5勘定戻))	14,766	10,707	4,058
国際業務粗利益	33,560	38,015	4,455
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	6,679	1,089	7,769
資金利益	5,478	1,447	6,925
役務取引等利益	31	0	31
特定取引利益	3	2	0
その他業務利益	39,074	36,570	2,503
(うち国債等債券損益(5勘定戻))	40,240	36,926	3,314
経費(除く臨時処理分)	71,789	1,147	70,642
人件費	35,599	258	35,858
物件費	32,960	1,608	31,351
税金	3,229	202	3,432
業務純益(一般貸倒繰入前)	26,836	26,108	52,945
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	52,311	110	52,200
一般貸倒引当金繰入額...	1,623	1,623	-
業務純益	28,460	24,484	52,945
うち国債等債券損益(5勘定戻)	25,474	26,218	744
臨時損益	3,628	1,661	5,289
不良資産処理額...	15,205	8,395	6,810
貸出金償却	10,689	4,652	6,036
個別貸倒引当金繰入額	3,438	3,438	-
特定海外債権引当勘定繰入額	-	-	-
バルクセール売却損	165	207	372
その他の偶発損失引当金繰入額	911	510	400
その他の処理額	-	-	-
(貸倒償却引当費用 + -)	13,581	9,153	4,427
株式等関係損益	9,689	9,068	620
株式等売却益	10,583	9,608	975
株式等売却損	572	548	23
株式等償却	322	8	331
その他臨時損益	1,888	987	900
経常利益	24,822	22,830	47,652
特別損益	278	5,633	5,354
固定資産処分損益	348	230	117
貸倒引当金戻入益...	-	2,382	2,382
償却債権取立益	1,970	1,192	3,162
減損損失	115	42	72
役員退職慰労引当金繰入額	666	666	-
休眠預金払戻損失引当金繰入額	1,094	1,094	-
ポイント引当金繰入額	23	23	-
税引前当期純利益	24,543	28,464	53,007
法人税、住民税及び事業税	12,859	3,509	16,368
法人税等調整額	1,256	11,708	10,451
当期純利益	12,940	13,246	26,186

## 【連結】

## 連結損益計算書ベース

(単位：百万円)

	平成19年度	平成18年度比	平成18年度
	連結粗利益	101,969	25,125
資金利益	107,309	1,964	105,345
役務取引等利益	18,296	1,527	19,823
特定取引利益	474	0	473
その他業務利益	24,109	25,563	1,453
営業経費	71,903	1,736	70,167
貸倒償却引当費用	15,639	7,278	8,360
貸出金償却	12,143	4,683	7,460
個別貸倒引当金繰入額	3,721	3,721	-
一般貸倒引当金繰入額	1,344	1,344	-
特定債務者支援引当金繰入額	-	-	-
特定海外債権引当勘定繰入額	-	-	-
その他の与信関係費用	1,118	218	900
株式等関係損益	9,692	8,946	745
持分法による投資損益	-	-	-
その他	2,135	1,699	435
経常利益	26,254	23,494	49,748
特別損益	85	4,021	3,936
税金等調整前当期純利益	26,169	27,515	53,685
法人税、住民税及び事業税	13,331	3,458	16,790
法人税等調整額	1,218	11,058	9,840
少数株主利益	131	604	735
当期純利益	13,924	12,394	26,319

(注) 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役務取引等収益 + 信託報酬 - 役務取引等費用)  
+ (特定取引収益 - 特定取引費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

## (参考)

(単位：百万円)

連結業務純益(一般貸引繰入前)	30,393	26,463	56,856
連結業務純益	31,737	25,119	56,856

(注) 連結業務純益 = 連結粗利益 - 営業経費(除く臨時費用分) - 一般貸倒引当金繰入額

## (連結対象会社数)

(単位：社)

	20年3月末	19年3月末比	19年3月末
	連結子会社数	10	1
持分法適用会社数	-	-	-

## 2. 業務純益【単体】

(単位：百万円)

	平成19年度		平成18年度
		平成18年度比	
(1) 業務純益(一般貸倒繰入前)	26,836	26,108	52,945
職員一人当たり(千円)	8,035	8,175	16,210
(2) 業務純益	28,460	24,484	52,945
職員一人当たり(千円)	8,521	7,689	16,210

(注) 職員数は、臨時従業員、嘱託及び出向職員を除いた平均人員を使用しております。

## 3. 利鞘【単体】

(単位：%)

	平成19年度		平成18年度
		平成18年度比	
(1) 資金運用利回 (A)	2.05	0.12	1.93
(イ) 貸出金利回	2.09	0.20	1.89
(ロ) 有価証券利回	1.99	0.02	2.01
(2) 資金調達原価 (B)	1.59	0.13	1.46
(イ) 預金等利回	0.27	0.15	0.12
(ロ) 外部負債利回	2.30	0.21	2.09
(3) 総資金利鞘 (A) - (B)	0.46	0.01	0.47

(参考) 国内業務部門

(単位：%)

	平成19年度		平成18年度
		平成18年度比	
(1) 資金運用利回 (A)	1.76	0.16	1.60
(イ) 貸出金利回	2.09	0.20	1.89
(ロ) 有価証券利回	1.30	0.01	1.31
(2) 資金調達原価 (B)	1.33	0.14	1.19
(イ) 預金等利回	0.23	0.15	0.08
(ロ) 外部負債利回	0.80	0.09	0.71
(3) 総資金利鞘 (A) - (B)	0.43	0.02	0.41

## 4. ROE【単体】

(単位：%)

	平成19年度		平成18年度
		平成18年度比	
業務純益ベース	7.47	6.63	14.10
当期純利益ベース	3.39	3.58	6.97

(注) 分母は純資産の平均残高を使用しております。

## 5. 有価証券関係損益【単体】

(単位：百万円)

	平成19年度	平成18年度	
		平成18年度比	平成18年度
国債等債券損益	25,474	26,218	744
売却益	21,784	13,535	8,248
償還益	-	-	-
売却損	30,664	23,160	7,504
償還損	-	-	-
償却	16,594	16,594	-

(単位：百万円)

	平成19年度	平成18年度	
		平成18年度比	平成18年度
株式等関係損益	9,689	9,068	620
売却益	10,583	9,608	975
売却損	572	548	23
償却	322	8	331

## 6. 特別損益【単体】

(単位：百万円)

	平成19年度	平成18年度	
		平成18年度比	平成18年度
特別利益	1,978	3,814	5,793
固定資産処分益	8	240	248
貸倒引当金戻入益	-	2,382	2,382
償却債権取立益	1,970	1,192	3,162
その他の特別利益	-	-	-
特別損失	2,257	1,818	438
固定資産処分損	356	9	366
減損損失	115	42	72
役員退職慰労引当金繰入額	666	666	-
休眠預金払戻損失引当金繰入額	1,094	1,094	-
ポイント引当金繰入額	23	23	-
その他の特別損失	-	-	-

## 7. 退職給付関連

## (1) 退職給付引当金

【単体】

(単位：百万円)

区 分	平成20年3月期	備 考
退職給付債務 (A)	52,211	・割引率 2.0%
年金資産 (B)	45,390	・期待運用収益率 3.5%
前払年金費用 ( ) (C)	6,462	・退職給付見込額の期間配分方法
未認識過去勤務債務 (D)	664	期間定額基準
未認識数理計算上の差異 (E)	8,787	・過去勤務債務の処理年数 10年
会計基準変更時差異の未処理額 (F)	-	・数理計算上の差異の処理年数 10年
退職給付引当金 (A-B-C-D-E-F)	3,831	

【単体】

(単位：百万円)

区 分	平成19年3月期	備 考
退職給付債務 (A)	51,940	・割引率 2.0%
年金資産 (B)	56,615	・期待運用収益率 3.5%
前払年金費用 ( ) (C)	5,081	・退職給付見込額の期間配分方法
未認識過去勤務債務 (D)	762	期間定額基準
未認識数理計算上の差異 (E)	5,325	・過去勤務債務の処理年数 10年
会計基準変更時差異の未処理額 (F)	-	・数理計算上の差異の処理年数 10年
退職給付引当金 (A-B-C-D-E-F)	4,968	

(参考) 【連結】

(単位：百万円)

	平成20年3月期	平成19年3月期
退職給付引当金	4,173	5,286

## (2) 退職給付費用

【単体】

(単位：百万円)

	平成20年3月期	平成19年3月期
退職給付費用計	1,838	1,576
勤務費用	1,583	1,571
利息費用	1,036	1,012
期待運用収益 ( )	878	782
過去勤務債務処理額	98	98
数理計算上の差異処理額	1	322
会計基準変更時差異一括償却額	-	-

(参考) 【連結】

(単位：百万円)

	平成20年3月期	平成19年3月期
退職給付費用計	2,168	1,904

## 8. 有価証券の評価損益

## (1) 有価証券の評価基準

売買目的有価証券	時価法（評価差額を損益処理）
満期保有目的の債券	償却原価法
その他有価証券	時価法（評価差額を全部純資産直入）
子会社株式及び関連会社株式	原価法

## (2) 評価損益

## 【単体】

(単位：百万円)

		20年3月末				19年3月末		
		評価損益	19年3月末比	評価益	評価損	評価損益		
						評価益	評価損	
満期保有目的	328	221	134	463	107	227	334	
子会社・関係会社株式	-	-	-	-	-	-	-	
その他有価証券	70,506	137,947	105,815	35,308	208,454	225,340	16,886	
株式	86,823	104,214	92,626	5,803	191,037	191,558	521	
債券	1,420	9,762	10,735	9,315	8,342	3,790	12,133	
その他	17,736	43,495	2,452	20,189	25,758	29,991	4,232	
合計	70,177	138,169	105,949	35,772	208,346	225,568	17,221	
株式	86,823	104,214	92,626	5,803	191,037	191,558	521	
債券	1,357	9,785	10,864	9,507	8,427	4,003	12,430	
その他	18,002	43,739	2,458	20,461	25,736	30,006	4,269	

## 【連結】

(単位：百万円)

		20年3月末				19年3月末		
		評価損益	19年3月末比	評価益	評価損	評価損益		
						評価益	評価損	
満期保有目的	328	221	134	463	107	227	334	
その他有価証券	70,634	137,884	105,954	35,320	208,518	225,406	16,887	
株式	86,950	104,152	92,765	5,815	191,103	191,624	521	
債券	1,420	9,763	10,736	9,315	8,342	3,790	12,133	
その他	17,736	43,495	2,452	20,189	25,758	29,991	4,232	
合計	70,305	138,106	106,089	35,783	208,411	225,633	17,222	
株式	86,950	104,152	92,765	5,815	191,103	191,624	521	
債券	1,357	9,785	10,864	9,507	8,428	4,003	12,431	
その他	18,002	43,739	2,458	20,461	25,736	30,006	4,269	

## 【単体・連結】

- (注) 1. 「有価証券」のほか、「買入金銭債権」中の信託受益権も含めております。  
 2. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、(連結)貸借対照表価額と取得価額との差額を計上しております。

## 9. 自己資本比率（国内基準）

【連結】

（単位：百万円，％）

	20年3月末 （国内基準）	[速報値]		19年9月末 （国内基準）	19年3月末 （国内基準）
		19年9月末比	19年3月末比		
(1) 自己資本比率 （Tier 比率）	13.22	0.90	1.24	12.32	11.98
	12.07	1.69	1.87	10.38	10.20
(2) Tier	363,582	21,780	13,324	385,363	376,906
(3) Tier	46,516	25,588	27,052	72,105	73,568
(イ) うち自己資本に計上された 有価証券含み益	-	-	-	-	-
(ロ) うち自己資本に計上された 土地再評価差額	11,196	25	121	11,170	11,317
(ハ) うち劣後ローン残高	35,000	7,000	7,000	42,000	42,000
(4) 控除項目	11,966	11,773	4,228	192	7,738
(5) 自己資本 (2) + (3) - (4)	398,132	59,143	44,604	457,275	442,737
(6) リスクアセット	3,010,056	701,591	684,085	3,711,647	3,694,141
(7) 総所要自己資本額	120,402	28,063	27,363	148,465	147,765

【単体】

（単位：百万円，％）

	20年3月末 （国内基準）	[速報値]		19年9月末 （国内基準）	19年3月末 （国内基準）
		19年9月末比	19年3月末比		
(1) 自己資本比率 （Tier 比率）	13.11	0.91	1.23	12.20	11.88
	12.06	1.68	1.85	10.38	10.21
(2) Tier	359,314	24,039	16,138	383,353	375,453
(3) Tier	44,924	22,369	23,936	67,293	68,860
(イ) うち自己資本に計上された 有価証券含み益	-	-	-	-	-
(ロ) うち自己資本に計上された 土地再評価差額	9,924	25	121	9,898	10,045
(ハ) うち劣後ローン残高	35,000	7,000	7,000	42,000	42,000
(4) 控除項目	13,746	13,644	6,073	101	7,672
(5) 自己資本 (2) + (3) - (4)	390,492	60,053	46,148	450,545	436,640
(6) リスクアセット	2,978,343	713,865	696,157	3,692,209	3,674,501
(7) 総所要自己資本額	119,133	28,554	27,846	147,688	146,980

（注）自己資本比率は、平成19年3月期より「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（平成18年金融庁告示第19号）」に基づき算出しており、20年3月期の自己資本比率の算出にあたっては、以下の手法を採用しております。

信用リスクに関する手法：基礎的内部格付手法

オペレーショナルリスクに関する手法：粗利益配分手法

なお、19年9月期及び19年3月期の信用リスクに関する手法は、標準的手法を採用し算出しております。

## 貸出金等の状況

## 1. リスク管理債権の状況

部分直接償却実施後

未収利息不計上基準；資産の自己査定基準

## 【単体】

(単位：百万円)

	20年3月末	19年9月末比		19年9月末	19年3月末
		19年9月末比	19年3月末比		
リスク管理債権					
破綻先債権額	7,286	2,758	1,488	4,527	5,798
延滞債権額	95,898	3,424	6,772	92,474	89,126
3カ月以上延滞債権額	1,229	218	832	1,447	2,061
貸出条件緩和債権額	51,250	7,183	1,696	44,066	49,554
合計	155,664	13,149	9,124	142,515	146,540

貸出金残高(未残)	4,669,468	180,804	230,612	4,488,663	4,438,855
-----------	-----------	---------	---------	-----------	-----------

(単位：%)

貸出金残高比					
破綻先債権額	0.15	0.05	0.02	0.10	0.13
延滞債権額	2.05	0.01	0.05	2.06	2.00
3カ月以上延滞債権額	0.02	0.01	0.02	0.03	0.04
貸出条件緩和債権額	1.09	0.11	0.02	0.98	1.11
合計	3.33	0.16	0.03	3.17	3.30

## 【連結】

(単位：百万円)

	20年3月末	19年9月末比		19年9月末	19年3月末
		19年9月末比	19年3月末比		
リスク管理債権					
破綻先債権額	7,453	2,785	1,506	4,667	5,946
延滞債権額	97,107	3,801	7,048	93,305	90,059
3カ月以上延滞債権額	1,436	166	759	1,603	2,196
貸出条件緩和債権額	51,324	7,181	1,610	44,142	49,714
合計	157,321	13,601	9,405	143,720	147,915

貸出金残高(未残)	4,635,216	182,151	232,636	4,453,065	4,402,579
-----------	-----------	---------	---------	-----------	-----------

(単位：%)

貸出金残高比					
破綻先債権額	0.16	0.06	0.03	0.10	0.13
延滞債権額	2.09	0.00	0.05	2.09	2.04
3カ月以上延滞債権額	0.03	0.00	0.01	0.03	0.04
貸出条件緩和債権額	1.10	0.11	0.02	0.99	1.12
合計	3.39	0.17	0.04	3.22	3.35

## 2. 業種別リスク管理債権

## 【単体】

(単位：百万円)

	20年3月末	19年9月末比		19年9月末	19年3月末
		19年9月末比	19年3月末比		
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	155,664	13,149	9,124	142,515	146,540
製造業	22,439	1,393	2,332	21,045	20,106
農業	632	155	103	476	529
林業	-	-	-	-	-
漁業	589	103	707	693	1,297
鉱業	1,083	272	267	811	816
建設業	26,165	4,946	3,623	21,219	22,541
電気・ガス・熱供給・水道業	1	0	5	1	6
情報通信業	1,363	577	595	786	767
運輸業	7,438	591	289	6,847	7,148
卸売業	12,048	3,114	1,859	15,163	13,908
小売業	21,658	4,016	3,698	17,641	17,959
金融・保険業	17	0	1	18	18
不動産業	20,960	717	2,239	20,243	23,200
各種サービス業	32,172	3,178	2,323	28,994	29,848
地方公共団体	-	-	-	-	-
その他	9,092	519	702	8,572	8,390

(注) 日本銀行業種区分により記載しております。

## 3. 貸倒引当金等の状況

## 【単体】

(単位：百万円)

	20年3月末	19年9月末比		19年9月末	19年3月末
		19年9月末比	19年3月末比		
貸倒引当金	34,293	2,579	5,276	36,872	39,569
一般貸倒引当金	15,190	203	1,623	15,394	16,814
個別貸倒引当金	19,102	2,376	3,652	21,478	22,754
特定海外債権引当勘定	-	-	-	-	-
特定債務者支援引当金	-	-	-	-	-
その他の偶発損失引当金	1,093	299	541	793	551

## 【連結】

(単位：百万円)

	20年3月末	19年9月末比		19年9月末	19年3月末
		19年9月末比	19年3月末比		
貸倒引当金	38,879	2,255	4,868	41,135	43,748
一般貸倒引当金	18,907	27	1,344	18,934	20,251
個別貸倒引当金	19,972	2,228	3,524	22,200	23,496
特定海外債権引当勘定	-	-	-	-	-
その他の偶発損失引当金	1,093	299	541	793	551

## 4. リスク管理債権に対する引当率

## 【単体】

(単位：百万円，%)

	20年3月末	19年9月末比		19年9月末	19年3月末
		19年9月末比	19年3月末比		
貸倒引当金 (A)	34,293	2,579	5,276	36,872	39,569
特定債務者支援引当金 (B)	-	-	-	-	-
リスク管理債権 (C)	155,664	13,149	9,124	142,515	146,540
引当率 { (A)+(B) } / (C)	22.03	3.84	4.97	25.87	27.00
引当率 (部分直接償却前)	37.32	4.10	5.64	41.42	42.96

## 【連結】

(単位：百万円，%)

	20年3月末	19年9月末比		19年9月末	19年3月末
		19年9月末比	19年3月末比		
貸倒引当金 (A)	38,879	2,255	4,868	41,135	43,748
特定債務者支援引当金 (B)	-	-	-	-	-
リスク管理債権 (C)	157,321	13,601	9,405	143,720	147,915
引当率 { (A)+(B) } / (C)	24.71	3.91	4.86	28.62	29.57
引当率 (部分直接償却前)	39.86	4.14	5.45	44.00	45.31

## (参考) リスク管理債権に対する保全状況 (20年3月末) 【単体】

(単位：百万円，%)

	破綻先債権額	延滞債権額	3ヶ月以上延滞債権額	貸出条件緩和債権額	合計
貸出金等の残高 (A)	7,286	95,898	1,229	51,250	155,664
担保等保全額 (B)	7,275	62,326	953	10,646	81,203
貸倒引当金残高 (C)	10	18,780	126	6,141	25,058
保全率 { (B)+(C) } / (A)	100.00	84.57	87.85	32.75	68.26
保全率 (部分直接償却前)	100.00	87.84	87.85	32.80	74.48

## 5. 金融再生法開示債権

## 【単体】

(単位：百万円)

	20年3月末			19年9月末	19年3月末
		19年9月末比	19年3月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	20,550	3,349	3,193	17,200	17,357
危険債権	83,320	2,479	4,865	80,841	78,454
要管理債権	52,479	6,965	863	45,513	51,616
小計 (A)	156,351	12,795	8,922	143,556	147,428
正常債権	4,569,216	165,638	218,469	4,403,577	4,350,746
合計	4,725,567	178,434	227,392	4,547,133	4,498,175

## 6. 金融再生法開示債権の保全状況

## 【単体】

(単位：百万円，%)

	20年3月末			19年9月末	19年3月末
		19年9月末比	19年3月末比		
保全額 (B)	106,736	7,416	2,162	99,320	104,574
貸倒引当金	25,251	1,688	3,960	26,939	29,212
特定債務者支援引当金	-	-	-	-	-
担保保証等	81,485	9,104	6,122	72,380	75,362

保全率 (B)/(A)	68.26	0.92	2.67	69.18	70.93
-------------	-------	------	------	-------	-------

保全率(部分直接償却前)	74.51	1.15	2.77	75.66	77.28
--------------	-------	------	------	-------	-------

## 7. 金融再生法に基づく資産査定とリスク管理債権との関係【単体】

自己査定 債務者区分	金融再生法の 開示債権	銀行法 リスク管理債権
破綻先債権 73 (15)	破産更生債権及びこれらに準ずる債権 205 (31)	破綻先債権 72 (14)
実質破綻先債権 131 (16)		実質破綻先債権 131 (16)
破綻懸念先債権 833 (48)	危険債権 833 (48)	延滞債権 958 (67)
要注意先債権 5,154 (145)	要管理債権 524 (8)	3ヵ月以上延滞債権 12 (8)
		貸出条件緩和債権 512 (16)
要管理先債権 754 (51)	小計 1,563 (89)	合計 1,556 (91)
要管理先債権以外の 要注意先 4,400 (93)	正常債権 45,692 (2,184)	
正常先債権 41,062 (2,047)	合計 47,255 (2,273)	
合計 47,255 (2,273)		

(注) 1. 記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。

2. ( )内は、前期比増減額を表示しております。

(対象債権について)

金融再生法上の開示債権 : 貸出金、使用貸借契約により貸し付けている有価証券、外国為替、未収利息、仮払金及び支払承諾見返を対象としております。

銀行法上のリスク管理債権 : 貸出金を対象としております。

(開示基準について)

金融再生法上の開示債権 : 自己査定をベースとし、債務者単位で開示しております。  
(ただし、要管理債権については債権単位)

銀行法上のリスク管理債権 : 自己査定の結果、破綻先、実質破綻先及び破綻懸念先に分類した債務者については、債務者単位で開示しております。要注意先に該当する債権は、債権単位で開示しております。

## 8. 業種別貸出状況等

## (1) 業種別貸出金【単体】

(単位：百万円)

	20年3月末		19年3月末比	19年9月末	19年3月末
		19年9月末比			
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	4,669,468	180,804	230,612	4,488,663	4,438,855
製造業	597,299	36,731	44,453	560,567	552,845
農業	15,246	344	1,088	14,902	14,158
林業	120	4	28	115	148
漁業	2,766	257	172	2,508	2,938
鉱業	12,207	158	6,297	12,365	5,909
建設業	194,391	3,967	2,462	190,423	196,853
電気・ガス・熱供給・水道業	23,591	5,799	8,853	17,791	14,737
情報通信業	21,391	523	1,518	21,914	22,909
運輸業	107,793	2,421	5,202	105,371	102,590
卸売業	348,774	5,588	3,957	343,185	344,816
小売業	268,142	2,973	1,662	265,168	266,479
金融・保険業	204,175	9,866	31,492	194,309	172,683
不動産業	707,252	50,394	28,865	656,858	678,386
各種サービス業	549,182	2,285	12,890	546,896	536,291
地方公共団体	572,154	44,913	52,930	527,241	519,224
その他	1,044,979	15,937	37,099	1,029,042	1,007,880

(注) 日本銀行業種区分により記載しております。

## (2) 消費者ローン残高【単体】

(単位：百万円)

	20年3月末		19年3月末比	19年9月末	19年3月末
		19年9月末比			
消費者ローン残高	1,274,511	28,181	58,427	1,246,329	1,216,083
うち住宅ローン残高	911,764	17,880	41,106	893,884	870,657
うちその他ローン残高	362,746	10,301	17,320	352,445	345,426

## (3) 中小企業等貸出【単体】

(単位：百万円，%)

	20年3月末		19年3月末比	19年9月末	19年3月末
		19年9月末比			
中小企業等貸出金残高	2,998,204	64,904	67,915	2,933,299	2,930,288
中小企業等貸出比率	64.20	1.14	1.81	65.34	66.01

## 9. 国別貸出状況等

## (1) 特定海外債権残高【単体】

該当ありません。

## (2) アジア向け貸出金【単体】

該当ありません。

## (3) 中南米主要国向け貸出金【単体】

(単位：百万円)

	20年3月末			19年9月末	19年3月末
		19年9月末比	19年3月末比		
ケイマン諸島	511	162	134	674	377
うちリスク管理債権	-	-	-	-	-
パナマ	2,292	109	624	2,402	1,668
うちリスク管理債権	-	-	-	-	-
合 計	2,804	272	758	3,076	2,046
うちリスク管理債権	-	-	-	-	-

## (4) ロシア向け貸出金【単体】

該当ありません。

## 10. 預金、貸出金の残高【単体】

(単位：百万円)

	20年3月末			19年9月末	19年3月末
		19年9月末比	19年3月末比		
預 金 (未残)	6,355,871	96,941	70,589	6,258,929	6,285,281
(平残)	6,276,662	8,242	107,219	6,284,905	6,169,442
貸出金 (未残)	4,669,468	180,804	230,612	4,488,663	4,438,855
(平残)	4,558,617	23,619	93,807	4,534,998	4,464,810